

小野市議会だより

Ono city assembly



学習発表会「リコーダー合奏」



子ども達の真剣なまなざしが指揮者に注がれています

第376回 12月定例会

一般質問

- | | |
|-------------|--------------|
| たか さか じゅん こ | かわ な よし ぞう |
| ・高坂純子 | ・川名善三 |
| ふじ わら あきら | か しま じゅん |
| ・藤原章 | ・加島淳 |
| こばやし ちづ こ | やま もと ご ろう |
| ・小林千津子 | ・山本悟朗 |
| まえ た みつ のり | ふじ もと しゅう ぞう |
| ・前田光教 | ・藤本修造 |

議会傍聴

12月定例会 63人
〔23年度累計 278人〕

12月定例会終わる

こんなことが決まりました……………	2～3
一般質問の発言者……………	4
一般質問の内容について……………	5～8
常任委員会の審査報告……………	9
各会派の視察報告……………	10～12
議会運営委員会の視察報告……………	12
臨時議会の報告……………	13
議員研修会の報告……………	14
小野市研究発表会に参加しました……………	15
議会の傍聴にお越しく下さい……………	15
議会の動き……………	16



12月
定例会

こんなことが決まりました。

12月定例会は、11月30日から12月26日まで27日間開催しました。一般会計補正予算をはじめ、条例制定及び人事案件などを含む議案8件を原案のとおり、可決・同意しました。

一部改正された条例

一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について（反対討論あり）

平成23年9月30日の人事院勧告に基づいて、給与を平均0・23%引き下げ（医師を除く概ね40歳以上）、12月期の期末手当で減額調整を実施するとともに、給与構造改革の実施日（平成18年4月1日）以前の給料月額の見給保障を平成24年度は半減させ、平成25年度から廃止するため改正を行うとするもの。

期末手当の支給基準が12月1日であり、減額に係る改正であるため、それより以前の11月30日に改正を行

おうとするもの。

小野市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

災害弔慰金の支給等に関する法律の一部改正により、支給対象者に生計同一等の兄弟姉妹（配偶者、子、父母、孫又は祖父母のいずれも存在しない場合に限る。）が加えられたことに伴う改正を行うとするもの。

小野市公園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

国宝浄土寺周辺に「浄土寺前広場」として公園を整備し、その公園内に「きよたにいっぷく堂」を整備しよ

うとするもの。

主な議案

北播肢体不自由児機能回復訓練施設事務組合わかあゆ園の共同処理する事務の変更及び規約の一部変更について

「障がい者制度改革推進本部等における検討を踏まえて障害保健福祉施設を見直すまでの間において障害者等の地域生活を支援するための関係法律の整備に関する法律」第5条の規定により児童福祉法の一部が改正され、「肢体不自由児施設」が「児童発達支援センター」へ改正されたこと及び「共同処理する事務」についての改正を行うため、組合規約を改正しようとするもの。

新都市中央線整備事業工事請負契約について

工事名 新都市中央線道路改良工事（その4）
相手方 神戸市中央区港島港町3丁目3番地の2

株式会社森長組関西支店
取締役支店長 的崎伸治
契約金額 1億5,802万5千円

小野市教育委員会委員の任命について

小野市教育委員会委員の貝原一氏の任期が、平成23年12月16日で満了となるため、その後任として小林道美氏を選任しようとするもの。

意見書関係

30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充を求める意見書

この意見書は、採決の結果、可決されました。

意見書の内容については、小野市議会ホームページに掲載しています。

補正予算関係議案

平成23年度小野市一般会計補正予算(第5号)

補正額 82,000千円追加
補正後総額 20,374,600千円

平成23年度小野市一般会計補正予算(第6号)

補正額 450,000千円追加
補正後総額 20,824,600千円

今回の補正予算は、北播磨総合医療センターへのアクセス利便性の向上を見据えた交通体系構築のためのコミュニティバスの追加と、粟生駅待合室の新設による公共交通機能の更なる充実、市民の省エネ・自家発電意識の高まりに呼应した太陽光発電設備助成の追加（50基分）などです。

この他に、国の平成23年度補正予算（第3号）により創設された緊急防災・減災事業を活用した市立小野東小学校の校舎整備事業費で、学校整備事業中期計画を前倒して、財政的に有利な補正予算債と国庫補助金を活用して校舎の耐震化・大規模改造を施工するため、実施設計費及び仮設校舎建設費用を追加補正しました。

平成23年度 一般会計12月補正予算概要

(単位:千円)

内 容	担当課	補正額	補正後
追加 公共交通活性化事業経費 小型バス購入、バス実証運行費	総合政策部	10,650	21,650
新規 粟生駅待合室整備事業 地域の夢推進事業の活用	総合政策部	8,000	8,000
追加 子ども手当支給経費 法律施行に伴うシステム改修	子育て支援課	2,390	1,221,647
追加 浄谷地域交流施設整備事業 施設整備工事	産業課	9,000	66,300
新規 現年発生災害復旧事業 台風12号・台風15号による農林施設災害復旧	産業課	31,000	31,003
追加 太陽光発電設置等助成経費 50件分追加（平成23年度見込 150件）	市民安全部	5,000	15,000
追加 災害補償経費 東日本大震災による消防団員等公務災害補償に係る掛金の増	消防本部	15,960	17,966
新規 小野東小学校校舎整備事業 実施設計委託料 50,000千円 工事請負費 400,000千円	教育総務課	450,000	450,000

一般会計補正予算の主な内容



(大縄跳びをする下東条小学校の児童たち)

(一般質問・質疑は発言した議員が編集しました)

平成23年 12月定例会

市議会HP内の「市議会ビデオライブラリ」からも、議会の様子をご覧ください。

HPアドレス:<http://www.city.ono.hyogo.jp/~gikai/>

一般質問発言者

高坂純子議員

- ・小野東小学校の建て替えについて
- ・おの恋ホルモン焼きそばと地域活性化について

小林千津子議員

- ・「地域の災害対策に女性の視点を」について
- ・アフタースクールの充実について

川名善三議員

- ・学校における放射線教育について
- ・不育症について

山本悟朗議員

- ・環境衛生問題について
- ・9月の台風時の対応と、被害発生現場の復旧状況について

藤原章議員

- ・TPP交渉参加と農業等の対策について
- ・技能職者表彰制度の創設について

前田光教議員

- ・小野市いじめ等防止条例について
- ・小野市のPR施策について

加島淳議員

- ・神戸電鉄粟生線について
- ・北播磨総合医療センターを中心にした新たなまちづくりについて

藤本修造議員

- ・「おの恋ブランド」確立の戦略について
- ・「認知症・うつ 相談・支援マップ」について



高坂純子議員

小野東小学校の建て替えについて

質問 改築検討委員会について

答弁 P T A 役員 4 名、学校評議員 4 名、学識経験者 1 名、東小学校管理職 2 名の 11 名で構成しています。本年 9 月 27 日に初めて開催し、月 1 回程度開催しています。(市当局)

質問 今後の方向性について

答弁 学校の改築に向けていろいろ検討してきました。コンクリートが剥がれるなど外観上は老朽化が進んでいます。耐震では問題なく、耐力度(構造耐力、保存度、外力条件)調査を行った結果、耐力が見込め、建て替えの補助対象にならない安全安心な学校との評価でした。また、同校は、鉄筋コンクリート校舎の法定耐用年数 47 年を経過していないため、15 年、20 年先まで建て替えを待つか、国の第 3 次補正予算の補助制度を使って、耐震補強を含む大規模改修を行うのかの選択となりました。教育委員会や改築検討委員会の意見も聞き、検討した結果、15 年、20 年先まで待つのではなく、早急に大規模改修を行い安全安心な学校整備を行う意思決定をしました。

当初は 27 年 3 月完成の予定でしたが、1 年前倒しして 26 年 3 月に完成させます。今後は、検討委員会等の意見を聞きながら、スピーディーに学校整備を行います。(市長)

おの恋ホルモン焼きそばと地域活性化について

質問 「ホルモン焼きそば」の今後の普及 PR は。

答弁 一つ目は、全国へ向けて発信する活動で、市内外へのイベント出展とメディアへの PR。二つ目は、地域を対象とした基盤作りに係る活動で、小野市の知名度を上げると共に地域に観光客を呼び寄せ地域経済を活性化させたいと考えています。(市当局)



公明党
川名善三議員

学校における放射線教育について

質問 必要性について

答弁 科学技術立国に生きる子どもたちにとって、放射線の危険性、医療や産業での利用、自然界での存在等について、正しい理解は必要です。(教育長)

質問 副読本の活用について

答弁 本年 10 月、文部科学省より放射線教育の副読本が発表されたが、平成 24 年度よりすべての学校に配本を希望している。本年度は、副読本のデータを印刷し必要に応じて効果的に活用したい。(教育長)



不育症について

妊娠はするが、2 回以上連続して流産や死産などを繰り返した場合、不育症と呼ばれている。検査により不育症と診断された場合、適切な治療を受けることで出産が可能となる確率が高くなることから、保険適用や公的支援について伺う。

質問 認識について

答弁 市では「母子健康手帳」申請時に過去の流産経験の有無などを聞き取り、複数回以上の流産経験者には習慣性あるいは反復性流産という概念で保健指導している。(市当局)

質問 公的支援について

答弁 本年 4 月の厚生労働省研究班の提言等に基づき、不育症に係る検査・治療費の医療保険の適用などについて議論が開始されたと聞いている。この議論を踏まえ、国・県の今後の動向に注視したい。(市当局)

質問 費用対効果、成果が見えるのか

答弁 医学的見地などを踏まえ、不育症に対する前向きな補助対象について検討したい。(市長)



日本共産党
藤原 章 議員

TPP交渉参加と農業等の対策について

野田首相は、国民の大きな反対の中でTPPについて「交渉参加に向けて関係各国と協議に入る」ことを宣言しました。TPP参加による小野市への影響と、営農組合への支援策を問いました。

質問 TPPに参加した場合の市内事業所の輸出への影響は。

答弁 商工会議所の調査によると、市内事業所の貿易は対東南アジア諸国が概ね8割を占める現状から判断すると、TPPに参加しても大きな変化はないものと考えます。(市当局)

質問 小野市農業への影響は。

答弁 小野市の農業産出額は約39億1千万円であり、TPP参加の影響を県公表の52.5%で試算すると、小野市の損失額は約20億5千万円になると想定される。(市当局)

質問 農業や農地を守る点で非常に大切な営農組合の育成指導、大型農機具購入等に対する助成策を問う。

答弁 市内で13ある営農組合への支援は、県農業改良普及センターやJA兵庫みらいと連携して、栽培技術指導・健全育成支援などを行っている。大型農機具購入等に対する助成策は、国や県の各種助成制度を紹介し、更に、新たな制度である「経営体育成支援事業」を活用して助成している。(市当局)

技能職者表彰制度の創設について

質問 技能尊重の気風を浸透させ、後継者育成や伝統文化の継承・発展のために、技能職者を顕彰する制度を作る考えがないか問う。

答弁 技能職者表彰制度は、国・県で制度が確立されている。また、市独自の制度として、「優良従業員表彰制度」がある。新たな制度の創設は行わず、県並びに本市の現制度で対応したい。(市当局)

神戸電鉄粟生線について



改革クラブ
加島 淳 議員

質問 平成24年度以降の神戸電鉄粟生線活性化協議会の取組みは。

答弁 特に粟生線を通学の足として利用している子供たちにとっては重要な交通手段です。今後も活性化に向けた取組みを進めます。(市当局)

質問 今後、粟生線を存続させるための方策は。

答弁 神戸電鉄自らの経営改善努力に加え、親会社である阪急阪神ホールディングス、近隣市町及び県の支援が必要です。また、地域住民の意識改革と共に「乗って残そう未来の粟生線」を合言葉に、実際に粟生線を利用する事が重要です。(市当局)

北播磨総合医療センターを中心にした新たなまちづくりについて

質問 北播磨総合医療センター建設

の進捗状況は。

答弁 造成工事は12月末に完成予定です。建築工事は10月に入札が執行され、1月20日に起工式が行われる予定です。(市当局)

質問 同エリア内に国立病院機構兵庫青野原病院の移転計画があると聞か、その状況は。

答弁 移転計画が了承されました。医療機能が集積することは、このエリアのまちづくりに一層の弾みがつくと大いに期待しています。(市当局)

質問 今後このエリアのまちづくりは。

答弁 平成22年10月に「小野長寿の郷(仮称)構想あり方検討委員会」が発足しました。同検討会で「新病院を核として、企業誘致や住宅地の整備など更に地域の活性化に繋がるものを加えていただきたい」と提案しました。今後、この構想の見直しにより、新病院や新都市中央線の整備を契機に、このエリアの開発は必ず動くを期待しています。(市当局)



市民クラブ

小林千津子 議員

「地域の災害対策に女性の視点を」について

質問 女性の視点に立った防災対策、及び女性が活かされる地域の防災組織のあり方について伺います。

答弁 避難所運営に当たる組織の中に、女性の視点は必要不可欠です。今後の防災対応には、女性の意見を反映できるように考えます。

また、日頃から町行政の意思決定の場に、女性が参画している状況が必要です。防災減災対策には、女性の地域への参画意識と気運を高め、同時に、持てる力を発揮し行動して頂けるためのエンパワーメントへの支援を行ってまいります。(市当局)

アフタースクールの充実について

質問 小野小学校でのアフタースクールは、「若松幼稚園」で行われて

おり、課題が多いと考えます。子育て支援と教育環境充実のため、専用の施設設置について伺います。

また、中番小学校でのアフタースクールは、指導員が1人であり、学校の教員室と離れた場所での実施となっている。管理面での強化が必要と思いますが考えを伺います。

答弁 小野小学校区では、子育て世代の家庭が増加し、学校内でのアフタースクール開設のための余裕教室が確保できず、若松幼稚園で実施しています。今後も児童数のピークが続く見込みで、学校の空き教室がありません。よって、将来のコミニティ施設となることも見据え、同校区において、新たな施設を設置する方向で考えます。(市長、市当局)

答弁 管理面の強化ですが、アフタースクールを運営するにあたっては、毎年校長先生と面談し、利用児童の生活のあり方を含め連絡・連携の強化に努めています。(市当局)



研政クラブ

山本悟朗 議員

環境衛生問題について

質問 持続可能で、より優れた環境を子孫に残す観点から、公共下水道または農業集落排水処理区域内で未水洗の世帯について、より積極的な水洗化の推進を問う。

経済的に設置が困難な場合には市が補助してはどうか。

特段の理由もなく設置がなされていない場合には、勧告・命令を行うてはどうか。

答弁 環境を保全していくことは市民全体で取り組むべき課題であり、市民全体の協力のもと守っていかねばなりません。

しかし、整備区域内の水洗化率は、93%以上となっており、補助制度を新設しますと、既に水洗化されている方に「不公平・不平等」感が生じることとなりますので、補助金制度の創設は現在考えておりません。水洗化できない状況を総合的に判

断すると、接続命令を出すことは難しいのが現状です。未水洗化宅への戸別訪問を継続し、また、地域と連携しながら水洗化への啓発や接続に向けた方策に取り組みます。(市当局)

災害の復旧状況について

質問 台風12号及び15号による被害発生現場の復旧状況について問う。

答弁 河川内に設置した井堰の被害、河川の護岸洗掘、道路の法面崩壊で、市や県が対応または関与するものが合計18箇所発生し、被害総額は約1億5千万円と試算。このうち道路・河川は、年明けより順次復旧工事に取り掛かります。(市当局)

質問 これからの水害対策について問う。

答弁 加古川及びその支流となる河川改修については、これまで以上に積極的に国・県に要望を続け、安心安全の向上に努めます。(市長)



市民クラブ
前田 光 教 議員

小野市いじめ等防止条例について

質問 この条例は、全国にさきがけて制定し、平成20年4月1日から施行。3年を経過した現在の状況と今後の取り組みについて問う。

答弁 市民会議を設置し、市民ぐるみで施策を遂行している。6月と11月に「ON/Oいじめ等防止ウィーク」事業を実施。いじめ等を許さない、なくそうという気運を創り出す活動を展開している。今後も市民とともに、揺るがぬ理念で啓発及び解決に向けて、庁内組織をあげて取り組んでいく。
(市当局)

質問 4年目を迎え新たなおもいについて問う。

答弁 「いじめ」を広義にとらえて、いじめの本質を理解し、また、いじめ等を考えるプロセスを理解する事が肝心である。今後も内容を変更することなく発信していく。
(市長)

小野市のPR施策について

質問 全国的知名度アップを狙いとする、小野市のPR施策について問う。

答弁 目的は、人口増や地域経済活性化と市民満足度の向上です。「市職員すべてが広報マンであれ！」との理念のもと、「広報おの」やホームページの充実、観光戦略である「おの恋プロジェクト」の展開、そして、更なるメディアとの連携によるPRに努めたい。また、シティーブランドを確立させ、都市のイメージを、様々な方と理念を共有する中で、協働してPR広報活動に取り組みたい。
(市当局)

質問 PR広報隊として「(仮称)おの恋大使」等、官民協働のシステムを創造してはいかがかと問う。

答弁 官民協働の、小野を発信する戦略会議の立ち上げを検討していく。
(市長)



市民クラブ
藤本 修 造 議員

「おの恋ブランド」確立の戦略について

質問 「おの恋」の位置付けについて

答弁 小野まつりにおいて「おの恋おどり」を開始して10年が経過、一定の知名度を有するようになった。他者に営利目的で使用されないように保護しておく必要があった。また、「おの恋」をブランド化して、観光産業の育成に向けた施策を展開していくため、「おの恋」の名称を商標登録した。
(市当局)

「おの恋」の名称は、市民自身の手により大きく変えられた小野市を象徴するブランドです。
(市当局)

質問 メディア戦略 (特にテレビ放映の今後の取り組み) について

答弁 今年度から市民サービス課では、NHK神戸放送局、サンテレビなどのテレビ局、及びラジオ局を定

期的に訪問し、直接担当者とは面談する機会を持つように努めている。

タイムリーな情報を提供するとともに、どのような情報が取り上げてもらえるかを絶えず認識し、担当課と情報の共有に努めている。
(市当局)

認知症・うつ 相談・支援マップについて

質問 認知症・うつ 相談・支援マップ 発刊の背景と目的について

答弁 認知症が確認される高齢者は、年間では概ね100名程度増加状況にあります。その大半が85歳以上の高齢者です。このような現状を踏まえ、認知症の早期治療と介護ケア、また、家族支援などを円滑につなげていくことができる、安全・安心な地域づくりの推進を目的に、初期症状や関わり方、予防方法などの正しい知識の普及、「かかりつけ医」などでの気軽な相談を含め、関係機関の協力を得て、9月に「相談・支援マップ」を全戸配布した。
(市当局)

常任委員会の審査報告

《各常任委員会に付託された議案》

11月30日開催 ◎総務文教常任委員会◎

議案第65号 一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について

◎民生地域常任委員会◎

議案第69号 新都市中央線整備事業工事請負契約について

審査の結果、反対討論はなく、全会一致で可決すべきと決まりました。

なお、議案第69号を審査する過程において、議員から「新都市中央線が小野工業団地までつながると、将来にわたって小野市に有形無形の恩恵をもたらすものと考えられ、当局においては、計画どおりにこの事業が進捗するように今後とも努めていただきたい。」との意見が出されました。

12月21日開催 ◎総務文教常任委員会◎

議案第64号 平成23年度小野市一般会計補正予算（第5号）

◎民生地域常任委員会◎

議案第64号 平成23年度小野市一般会計補正予算（第5号）

議案第66号 小野市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第67号 小野市公園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第68号 北播肢体不自由児機能回復訓練施設事務組合わかあゆ園の共同処理する事務の変更及び規約の一部変更について

審査の結果、反対討論はなく、全会一致で可決すべきと決まりました。

12月26日開催 ◎総務文教常任委員会◎

議案第71号 平成23年度小野市一般会計補正予算（第6号）

審査の結果、反対討論はなく、全会一致で可決すべきと決まりました。

なお、議案第71号を審査する過程において、議員から「小野東小学校の校舎整備事業にあたっては、当該小学校の改修検討委員会や地域住民等の意見・要望を十分反映させるなど、より良い校舎整備事業となるよう努めていただきたい。」との意見が出されました。



総務文教常任委員会



民生地域常任委員会

26日 12月定例会の提出議案審査付託について、第1日目の11月30日及び12月21日に総務文教、民生地域の各常任委員会を、第4日目の12月26日に総務文教常任委員会を開催しました。審査付託議案は、議案第64号から議案第69号及び議案第71号の7議案であり、市当局から細部にわたる説明を受け、慎重に審査しました。各常任委員会に付託された議案は、次のとおりです。

市民クラブ・公明党 会派視察報告

平成23年8月9日(火)～11日(木)

①鹿児島県鹿屋市

鹿屋ブランド創出事業について

地域の資源特性を生かした、地域経済の活性化と競争力の向上に向け、個々の特産物等のブランド化だけでなく、地域の資源や特性を集約して、地域の新たな個性（地域ブランド）として創出し、地域内外に強くアピールすることにより、産業振興や交流の促進など、地域経済の活性化と競争力の向上への取組みを行っている。



②熊本県八代市

小中一貫教育について

子どもたちの限りない成長を願い、児童生徒の心身の発達に応じた適切な指導の在り方として、「中1ギャップの解消」など、より多くの効果が期待できる「小中一貫・連携教育」を全小中学校において実施することを目指す。9年間を見通した系統的・継続的な学習・生徒指導を行い「生きる力」を育む。



③熊本県熊本市

買い物弱者対策事業費助成制度について

身近な商店の減少や高齢化の進行等により増加している“買い物弱者”（日常の買い物が困難な状況に置かれた人）の利便性を向上させる事業を、商店街等の団体が単独、又は地域団体等と連携して実施する場合に助成を行い、やる気のある団体を支援。



平成23年10月24日(月)・25日(火)

①第7回地域医療政策セミナー

(主催:全国自治体病院経営都市議会協議会)

(1)秋田県横手市 市立大森病院 院長 小野 剛 氏

「夕暮れ診療」、「女性専用外来」の開設、訪問診療、訪問看護、訪問リハビリテーション、予防医療への対応など、地域や患者のニーズを踏まえた診療体制の整備を行なっている。

(2)講師 福井県おおい町 国民健康保険 名田庄診療所 院長 中村 伸一 氏

「医療崩壊」などと言われているその根底には患者側と医療者側の相互不信がある。その大きな溝を埋めるには、「お互い様」の心を持ち、相互信頼のもとに医療という限られた公共財を守り支えあうことが大切。中村講師の活動は、NHKのテレビ番組『プロフェッショナル 仕事の流儀』でも紹介された。

②静岡県富士宮市

フードバレー構想について

アメリカのコンピューター産業の集積地「シリコンバレー」に由来する「フードバレー」の名称は、富士宮市が美味しい食べ物、特色ある食べ物、良い食べ物が多く「食の集積地」とも言えることから、「フードバレー」と命名。平成16年から「フードバレー構想」を掲げ、市民と生産者・NPO・企業・大学が連携し、市を挙げて「食」のまちづくりに取り組む。



【市民クラブ】

藤本修造・山中修己・岡嶋正昭
小林千津子・前田光教

【公明党】

川名善三・竹内 修

改革クラブ 会派視察報告

平成23年11月7日(月)・8日(火)

宮崎県日向市、日南市

市民協働による街づくりの取り組みについて

2011年11月7日～9日まで改革クラブ研政クラブ無党派二名で、宮崎県日向市、日南市、鹿児島県志布志市へ研修視察に行ってきました。日向市と日南市では市民協働による街づくりの取り組みについて説明を受けました。

行政と市民、NPO等との連携、協働により地域づくりは10年仕事と長いスパンで目標を掲げ、積極的に活動されていました。両市とも市職員をまちづくり協議会に参加させることで事務的な補助をおこない、的確な情報、アドバイスを提供するとともに、コストを抑えられるように考えられていました。

特に日南市では行政依存からの脱却を目指し、「事業ありきの協議会ではなく、地域の問題を考えなおして地域を育て、迫りくる過疎化、少子高齢化に向け継続性のある活動を行うこと」を軸に子供の意見も集約し、地域、個人の不安やニーズに沿えるよう努力されていました。

一方で、地域別の取り組みに対する温度差があり、これを調整するのが大きな課題となっています。小野市においても同様の課題を抱えています。今後も他自治体の取り組みの検証を続け、問題解決に取り組んでいきたいと思っております。



【改革クラブ】
加島 淳・河島 三奈

研政クラブ 会派視察報告

平成23年11月9日(水)

鹿児島県志布志市 伊崎田保育園

ヨコミネ方式保育園の取り組みについて

2011年11月7日～9日まで改革クラブ研政クラブ無党派二名で、宮崎県日向市、日南市、鹿児島県志布志市へ研修視察に行ってきました。

伊崎田保育園はヨコミネ式の教育法を実践している保育園で、全国にその教育法を広めています。

午前中は主に学習の時間となっていて、漢字の書き取り、算数の加減乗除算、楽器の練習を行います。体操の時間には大人顔負けの運動能力を見せてくれました。

他の保育園と比較して、個々の保育士たちの能力がとりわけ高いという印象は受けず、教育を進めるプログラムの作成が、他の保育園とは異なっていることを学びました。

園児の集中力が高く、学習中に私たち見学者がいても浮足立ったりはしません。「自分のやるべき事を理解しているから」と園長先生から説明を受け、感心いたしました。

園児の集中力を高め、可能性を最大限に引き出す教育方法は、今後の市内の保育園教育のあり方や小野市の進める「16か年教育」においても参考になる点が数多くありました。

今後さらに知識を深め、提案を実施していきたいと考えています。



【研政クラブ】
松井 精史・松本 英昭
山本 悟朗

無会派 会派視察報告

① 平成23年10月24日(月)～25日(火)
(市民クラブ・公明党と一緒に)

A 第7回地域医療政策セミナー (東京都千代田区)
地域医療の現状と「高い在宅死亡率と住民の絆」等

B 地域がつくるB-1グルメ (静岡県富士宮市)
「フードバレーふじのみや」の推進体制等

② 平成23年11月7日(月)～9日(水)
(改革・研政クラブと一緒に)

A 協働のまちづくり (宮崎県日向市)
NPOとの協働の推進。
地域コミュニティ組織制度やモデル地区での検証。

B 地域連携組織と地域づくり (宮崎県日南市)
地域協議会設立から現在までの実践発表

C 伊崎田保育園ヨコミネ式教育法 (鹿児島県志布志市)
子どもをやる気にさせる4つのスイッチ検証

〈まとめ〉 テーマを小野市が重点としている「地域の活性化」に絞って視察。「地域の絆」が不可欠であると共に「若者や女性の参画」にどう取り組むかが「市民力」の向上に繋がる。



【無会派】高坂 純子

① 宮崎県日向市、日南市
市民協働による
街づくり活性化の推進について

平成23年
11月7日(月)・8日(火)

行政、市民、NPOが一体となり協働による地域づくりを積極的に推進し、過疎化や少子高齢化等、様々な問題解決に向け、行政側も可能な限りの支援を行っており、本市においても参考となる事例が多々あり問題解決に取り組むたいと思います。

② 鹿児島県志布志市 伊崎田保育園
ヨコミネ式教育法について

平成23年
11月9日(水)

兵庫県においても、この教育法を導入している保育園もある。

算数(小2程度)漢字書き取り、楽器演奏、跳び箱等の体操等全てがすでに小学校低学年レベルに達しており、日々の訓練により、やれば出来ると言う印象を強く持ちました。

これらを本市の「16か年教育」の参考に各種提案したいと思います。



【無会派】中井 澄夫

議会運営委員会行政視察報告

平成23年7月28日(木)・29日(金)

三重県四日市市・滋賀県野洲市

議会基本条例、通年議会、常任委員会制について

7月28日(木)、四日市市議会を訪問し「基本条例、通年議会、常任委員会制」について行政視察しました。四日市市議会は、議会基本条例(平成23年5月1日施行)を制定し新たな取組みを始められています。

この条例の特徴は、議会のあるべき姿を基本方針に掲げ、また、通年議会、反問権、文書質問などの事項を盛り込んでいます。特に、定例会を従来の年4回開催から年1回とする「通年議会」は、全国の市議会で初の実施となるため、これらを中心に説明を受け質疑などを行いました。

次に、7月29日(金)、野洲市議会を訪問し「議会基本条例、市議会報」について行政視察しました。野洲市議会では、議会基本条例(平成23年4月1日施行)制定の経緯や今後の取組み、及び市議会報の編集・発行について説明を受け意見交換しました。

小野市では、議会中継、質問内容の事前公開、ホームページによる新着情報の発信等により、開かれた議会を目指して取り組んでいます。今後は、視察で学んだ事例を参考に、より一層、議会の活性化に努めてまいります。



1月臨時会 こんなことが決まりました。

緊急議案「(仮称)おのセレモニーホール建設(建築)工事請負契約について」の審査をするため、1月24日に市議会臨時会を開催し、総務文教常任委員会に審査を付託した後、本会議において原案のとおり可決しました。

議案名	(仮称)おのセレモニーホール建設(建築)工事請負契約について
工事名	(仮称)おのセレモニーホール建設(建築)工事
相手方	三田市下田中字向井560番の4 但南建設株式会社 三田営業所 所長 三谷 禎久
契約金額	2億4,643万5千円



総務文教常任委員会

《総務文教常任委員会に付託された議案》

議案第1号 (仮称)おのセレモニーホール建設(建築)工事請負契約について

審査の結果、反対討論はなく、全会一致で可決すべきと決まりました。

なお、議案を審査する過程において、議員から「今年秋のオープンに向けて、建築工事の進捗管理のほか、共同事業者との協議を密にされるなど、市民が満足される施設となるよう、今後とも努めていただきたい。」との意見が出されました。

(仮称)おのセレモニーホールの概要

1 敷地概要

- (1) 場所 小野市敷地町1504-1
- (2) 敷地面積 5,740.14㎡

2 建物概要

- (1) 規模・構造 平屋建て鉄骨造
- (2) 延べ面積 1,619.42㎡
- (3) 建築面積 1,785.28㎡

3 開場予定 平成24年10月



セレモニーホールイメージ図

議員研修会を継続開催しています

小野市議会では、改選後の5月1日以降、6月、9月、12月の定例会開催期間を除き、積極的に研修会を開催しています。可能な限り現場に出て市政の現状を把握し、議員の資質と議会としての監視機能の向上に取り組んでいます。常任委員会研修会には、所属する委員会以外の議員も積極的に参加しています。

	日 程	内 容	参 加 者
1	5月 2日	小野市の概要について	全 議 員
2	5月 2日	議会運営・議員共済制度について	1 期 議 員
3	5月 6日	小野市の議会制度について	全 議 員
4	5月 6日	市議会をとりまく環境について	全 議 員
5	5月16日	議会検索システムの利用について	1 期 議 員
6	5月16日	情報セキュリティについて	1 期 議 員
7	7月15日	こだまの森グランドゴルフ場増設工事について	民生地域常任委員会
8	7月19日	水道料金及び下水道使用料の改定について	民生地域常任委員会
9	7月27日	神戸電鉄粟生線について	全 議 員
10	8月16日	国民健康保険制度について（国民健康保険制度の概要及び保険税について）	民生地域常任委員会
11	8月22日	浄谷住宅地造成工事の進捗状況・浄谷南産業用地・浄谷黒川丘陵地について	総務文教常任委員会
12	8月22日	小野市「教育の実践と評価」について	総務文教常任委員会
13	8月29日 ~31日	決算研修会	全 議 員
14	9月 2日	消防本部救急救助訓練視察	全 議 員
15	9月15日	台風12号による市内の被害状況現地確認	全 議 員
16	10月 5日	小野市の商工業の現状と課題について（小野商工会議所と合同研修）	民生地域常任委員会
17	10月 6日	「うるおい交流館エクラ」の管理運営と事業展開について	総務文教常任委員会
18	10月19日	市民病院の運営状況と改革プランについて	民生地域常任委員会
19	10月21日	小野市研究発表会でプレゼン発表	全 議 員
20	10月28日	小野市の財政状況について	総務文教常任委員会
21	10月28日	船木浄水場等現地視察	民生地域常任委員会
22	11月 1日	北播磨総合医療センター敷地造成工事の現地研修会（工事進捗、防災工事、土地利用等）	全 議 員
23	11月16日	コミュニティバス（らんらんバス）運行について	総務文教常任委員会
24	11月16日	小野市の障害福祉・子育て支援について（障害福祉制度の概要、障害者地域生活・相談支援センターの紹介及び事例紹介）	民生地域常任委員会
25	1月16日	介護保険制度及び介護保険事業計画等について	民生地域常任委員会
26	1月24日	消防の取組み及び「市民救命士研修」について	全 議 員



7月27日 神戸電鉄粟生線視察



8月22日 浄谷住宅造成工事現場視察



9月15日 台風12号の災害現場視察



10月28日 船木浄水場視察



11月1日 北播磨総合医療センター造成工事現場視察



11月1日 新都市中央線完成予定地視察

開かれた議会へ 新たなチャレンジ!!

小野市研究発表会に小野市議会として初参加

「開かれた議会」

- 平成11年 5月 議長立候補制の導入
- 平成12年 6月 会議録検索システム
インターネット上で公開
- 平成13年12月 インターネットによる本会議放映
- 平成14年12月 議員一人一台パソコン配備
→議会グループウェア導入
- 平成15年12月 議員所有の携帯電話へ
スケジュールの配信
- 平成18年 6月 傍聴者の託児コーナーを開設
- 平成20年 9月 議場に大型ディスプレイ設置



「議会改革」

- 議員定数の削減
- 常任委員会研修会の開催
- 決算特別委員会の廃止(決算研修会で調査)
- 2011年9月の決断(台風による日程の延期)
- 議員と議会事務局との連携



議長立候補制の導入

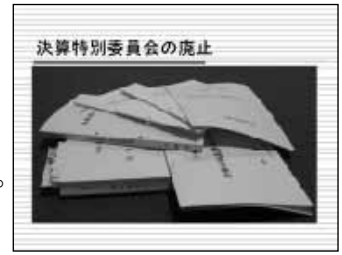
「限りなき変革と創造への挑戦! 開かれた市議会をめざして」をテーマに発表

10月21日(金)17時45分から、平成23年度 小野市研究発表会が、伝統産業会館で開催されました。これまで、市職員の研究発表の場として開催されてきましたが、今年からは職員以外にも参加を求め、NPO法人北播磨市民活動支援センターなども参加されました。

今回小野市議会として初めて参加し、これまで市議会が取り組んできた議会改革の流れをパワーポイントを使い、参加した約300人の市民の方や市職員にプレゼンテーションにより説明を行いました。今回の発表資料は、企画・パワーポイント作成・説明など16名の議員全員が結集して作成したものです。今後も開かれた議会をめざして、チャレンジし続ける小野市議会としての決意も述べました。



議員一人一台パソコン配備
議会グループウェア導入



決算特別委員会の廃止

議会の傍聴にお越しく下さい。

3月 定例会 日程

3月定例会は、下記の日程で開催いたします。

- 2月27日(月) 10時～ 本会議(第1日) 3月 8日(木) 10時～ 本会議(第2日)
- 3月12日(月) 10時～ 本会議(第3日) 3月27日(火) 13時30分～ 本会議(第4日)

○本会議の第2日(8日)、第3日(12日)は、議員の一般質問があります。
市長から提出された議案や、市政全般について一般質問を行い、市長及び市の幹部が答弁します。

傍聴者の休憩室を開設します

本会議を傍聴に来られた市民の皆さんに、本会議の休憩時間をくつろいでいただけるよう、議場の隣接会議室を利用して、休憩室を設けています。休憩室の設置は、一般質問のある8日(木)と12日(月)の2日間です。部屋には、セルフサービスのお茶も用意しています。



託児コーナーを 開設します

3月 8日(木)
3月12日(月)



○一般質問が行われる8日(木)、12日(月)の午前中は、「託児コーナー」を開設します。満1歳から就学前までのお子さんをお持ちの保護者の皆さんも議会を見ていただくことができます。ご希望の方は、2月29日(水)までに議会事務局まで電話でお申し込みください。

今年度も続々来市 ～全国から小野市へ行政視察～

	視察日	都道府県	自治体	委員会等	内容
1	5月20日	鹿児島県	指宿市	総務水道委員会	行政経営について
2	7月25日	岡山県	備前市	議会運営委員会	議会改革について
3	8月1日	岡山県	井原市	総務文教委員会	行政経営について
4	10月5日	鹿児島県	日置市	議員	男女共同参画の取組みについて
5	10月6日	埼玉県	北本市	総務文教常任委員会	不登校ゼロ運動について
6	10月19日	埼玉県	川越市	文化教育常任委員会	NPOとの協働のまちづくりについて
7	10月21日	埼玉県	久喜市	文教常任委員会	小中連携について・ICT教育について
8	10月27日	兵庫県	多可町	生活環境常任委員会	上下水道の外部委託について
9	10月31日	兵庫県	養父市	議会運営委員会	議員定数と報酬について
10	11月2日	大分県	豊後大野市	総務常任委員会	行政経営について
11	11月9日	大阪府	熊取町	総務文教・事業厚生常任委員会	行政経営について
12	11月14日	静岡県	静岡市	自民党	おの検定と16か年教育について
13	11月15日	山形県	天童市	総務教育常任委員会	行政経営について

小野市議会では、毎年全国の議会から行政視察の受け入れを行っています。
今年度も、「行政経営」や「小野市の教育」について13件の視察を受け入れています。



11月2日 大分県豊後大野市
「行政経営について」



10月21日 埼玉県久喜市
「小中連携について」外



10月27日 多可町
「上下水道の外部委託について」

◎ 議会の動き ◎

【11月】

- 1日 議員研修会
- 2日 大分県豊後大野市行政視察来市
- 7日～9日 研政クラブ・改革クラブ等会派行政視察
(日南市・日向市・外)
- 9日 大阪府熊取町行政視察来市
- 10日～11日 全国市議会議長会相談役会(東京)
- 11日 北播政経懇話会(西脇市)
- 13日 市民文化賞表彰式
- 14日 静岡市行政視察来市
- 15日 山形県天童市行政視察来市
- 16日 民生地域常任委員会研修会
 - 〳 総務文教常任委員会研修会
 - 〳 小野加東住民大会
- 17日～18日 全国市議会議長会正副会長会議(八王子市)
- 22日 議会運営委員会・議会報編集委員会
 - 〳 全国市議会議長会(東京)
- 23日 小野市ひまわり杯ジュニアバレーボール大会
- 26日 心あったかフォーラム
 - 〳 黒川西土地区画整理組合設立総会
 - 〳 洲本市市制5周年記念式典(洲本市)
- 30日 本会議(第1日目)
 - 〳 総務文教常任委員会・民生地域常任委員会
 - 〳 議会運営委員会

【12月】

- 8日 小野加東広域事務組合議会
- 10日 女性フェスティバル
- 14日 北播衛生事務組合議会(加東市)
- 15日 議員協議会
- 16日 本会議(第2日目)
- 18日 小野市美術展表彰式

19日 本会議(第3日目)

- 〳 議会運営委員会
- 21日 総務文教常任委員会・民生地域常任委員会
- 26日 本会議(第4日目)
 - 〳 総務文教常任委員会

【1月】

- 5日 新年交歓会
- 6日 新春互礼会
 - 〳 金物卸商業協同組合新年会
- 9日 成人式
- 13日 匠工業会新年交歓会
- 16日 民生地域常任委員会研修会
- 19日 近畿市議会議長会支部長会議(大阪市)
 - 〳 議会運営委員会
 - 〳 市議会報編集委員会
- 20日 北播磨総合医療センター起工式
 - 〳 兵庫県市議会議長会理事会(篠山市)
 - 〳 北播政経懇話会(加西市)
- 23日 全国市議会議長会(東京)
- 24日 臨時議会
 - 〳 議員研修会
- 25日 東播・淡路市議会議長会定例会(淡路市)
- 26日～27日 全国市議会議長会正副会長会議(宗像市)
- 29日 ONO RAN ラン WALK

自宅にいながら議会の傍聴

インターネットで市議会の
中継が見られます。

小野市議会HP

↓
LIVE市議会中継
↓
市議会中継

